

千電協会報



一般社団法人

千葉県電業協会

2015. 1 第41号



目次

(敬称略)

- ご挨拶
会長 五十嵐 治 美
千葉県知事 森田 健 作
千葉県県土整備部営繕課 課長 伊藤 清学
(一社)日本電設工業協会 会長 山口

- 1年を振り返って
 - ・第52回通常総会・懇親会
 - ・平成26年度地区別会員交流会
 - ・三県連絡会議
 - ・千葉県高等学校工業教育研究会 「総合技術コンクール」
 - ・委員会報告
 - 防災・渉外委員会
 - 技術・人材委員会
 - 総務・企画委員会

- 寄稿文
 - Dream Come True!!
フィデス (株) 並木 鷹男
 - 私と武道 只今修行中!
(株) 増田電気工業所 増田 卓也
 - 東日本大震災の当日を振り返って
モデン工業 (株) 小林 正則
 - 有志ゴルフ同好会
共立電設 (株) 植草 宏介

- 新入会員紹介
榎本電機 (株) (株) 渡辺電気工業

- 賛助会員紹介 (弱電・火報部門 6社)

- 会員消息
- 総会日程案内
- 会務報告
- 協会役員表
- 組織表
- 会員名簿
- 編集後記



(表紙等の写真) 千葉常胤像と千葉城

年頭のご挨拶



(一社)千葉県電業協会会長



五十嵐 治 美

あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

平素から関係各位並びに会員の皆様方には、協会活動への一方ならぬご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年日本経済は「アベノミクス」の功罪が見え隠れした年となりました。

4月に消費増税が行われ、企業業績の回復による賃上げ、ボーナス支給額UPと明るい兆しも見え、株価も1万8千円台へ、そして円は110円台と数年ぶりの活況がありました。しかしながら後半には2期連続でGDP（国内総生産）がマイナスとなり、景気減速が明るみになると、10%消費増税先送り、衆議院解散選挙と慌しい年の暮れとなりました。

また企業の景況感にも隔たりがあり、業種により大きく明暗が分かれた年でもありました。我々の業界は材料費の高騰、慢性的な労働力不足と厳しい状況は依然として続いております。

今、私たち電気業界は、かつて経験のない局面に立たされております。東日本大震災による原子力発電の稼働停止は、地球環境に対し負荷の少ない「再生可能エネルギー」への普及を促進し、またその電力の流れを供給側・需要側の両方から制御する次世代送電網「スマートグリッド」に期待が高まってきております。今までのように、日本国内の電力事情に合わせたインフラ整備ではなく、世界に目を向けて電気業界の動向を見据えていかねばなりません。

このような状況下のなか、当協会は昨年5月の総会で新理事が加わり新体制で出帆いたしました。退任された並木前会長が掲げた「3つの協会事業」を継承継続し、加えて、会員各社の財務・経営基盤の安定へと繋がる「受注に直結する活動」にも注力して参ります。

「3つの協会事業」とは、社会貢献事業である「災害防止協定」に基づいた「安全で安心」な県土創り、人材育成事業である「工業高校と連携する就労支援事業」の推進、会員各社の繁栄へと繋がる情報等の提供、また会員以外の方でも参加できる電気知識の普及を目的とした講習会を実施しております。他にも協会に課せられている使命は枚挙に暇がありませんが、この3つの協会事業を安定継続させていくことが将来につながると考えております。

この業界が10年先、20年先、そしてさらにその先の時代へと受け継がれていくためには、現在の体制づくりが鍵となります。今までの礎を築いてくれた諸先輩方の功績を検証し、新たな価値観の創造が必要となります。昨年5月の改選による新体制では、共に歩んできた役員の方々に次の担い手となる新たな顔ぶれ（新理事）が加わりました。将来にむけた業界のあり方を会員の皆様方と共に考え、今までにも増して「強い電業協会」を創り上げていく所存です。

最後に、関係機関、会員の皆様方にとって、この一年がより佳き年となりますよう、ご健勝とご発展をご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

本年も「技術と信用の（一社）千葉県電業協会」をよろしくお願い申し上げます。



知事年頭のごあいさつ



千葉県知事

森田 健作



明けましておめでとうございます。

千葉県電業協会の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、皆様には、日ごろから技術の研鑽、品質の向上、安全性の確保等に取り組み、本県の電気工事業界の発展に御尽力をいただくとともに、県政の推進に御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

新年を迎え、東京オリンピック・パラリンピックの開催まであと5年となりました。開催の効果を本県の発展につなげるため、本年は、官民が連携した「オール千葉」の体制で、観光地の魅力アップや外国人観光客・キャンプ受入体制の整備などの取り組みを加速させます。また、一人でも多くの本県出身選手がオリンピックに出場できるよう、優れた能力を持つジュニア選手の強化を図ります。

社会資本整備では、4月に成田空港でLCC専用ターミナルビルが開業し、圏央道の神崎・大栄間が平成26年度内に開通する予定です。海外との航空ネットワークがさらに充実するとともに、北関東や東北から本県へのアクセスが向上することから、新たな工業団地の整備や戦略的な企業誘致、国内外観光客の誘致などを一層推進します。また、都心とアクアライン、成田空港を結ぶため、圏央道の大栄・横芝間、外環道・北千葉道路の一日も早い全線開通に取り組みます。

そして、景気回復の足取りを確かなものとし、県経済の一層の活性化を図るため、「第3次ちば中小企業元気戦略」に基づいた中小企業支援策の推進や、健康・医療、エネルギー等成長産業の振興等を積極的に推進します。

県民の皆様の安全と安心の確保も重要な課題です。災害発生時には、県や市町村が行う「公助」はもとより、自分の命は自分で守る「自助」、自分たちのまちは自分たちで守る「共助」が不可欠です。東日本大震災の教訓を生かし、県民、事業者、自主防災組織、県、

市町村などが一丸となり、地域防災力の向上を図るための施策を推進し、災害に強い千葉県づくりに努めます。

また、本県には、鋼板などで囲まれた自動車部品の保管施設（ヤード）が数多くあり、盗難車が保管されていた事例や油の流出等が問題となっていることから、全国初となる「ヤード適正化条例」を4月から施行し、ヤード周辺における生活環境の保全を図ります。さらに、危険ドラッグ、振り込め詐欺、空き巣・ひったくりなどの対策にも力を入れ、「安全・安心日本一」を目指します。

本年も、皆様と共に、次世代を担う子どもたちが「千葉で生まれて、住んで、働いて良かった」と誇りに思えるような魅力あふれる「日本の光り輝く千葉県」を築いていけるよう、全力で取り組んでまいりますので、御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

結びに、一般社団法人千葉県電業協会のますますの御発展と、会員の皆様の御活躍を祈念申し上げます、年頭のあいさついたします。



年頭のごあいさつ



千葉県県土整備部営繕課 課長

伊藤 清



新春にあたり、謹んで御挨拶を申し上げます。

一般社団法人千葉県電業協会の会員の皆様には、千葉県の営繕行政の推進にあたり、日頃より、御理解と御協力を賜っていることに、心より御礼申し上げます。

公共建築物は、県民の共有財産として、環境との調和を図り、地域の文化を生かした誇りと愛着の持てる良質な施設として整備するよう求められています。また、近年は、機能性や安全性などの建築物の基本的な性能だけではなく、長寿命化、防災対応及び環境負荷の低減などの付加価値が求められています。

このため、千葉県では、先端技術を積極的に導入するとともに、県民の皆様が安心して安全に利用できる建築物の整備に取り組んでいます。

電気設備につきましては、高効率型機器の導入、人感センサーの設置及びLED照明器具の採用等により、維持管理コストの低減を図り、さらに太陽光発電設備や蓄電池設備を設置するなど、環境や防災対応に配慮した設計を行っているところです。

また、電気設備工事は、専門性が高く、経験と技術が必要となる一方で、技術の進歩が早く、常に最新の施工技術の習得が必要となることから、多くの専門技術者を擁し、豊富な経験を有する会員の皆様のご協力が重要となっています。

今後とも、最新技術の研鑽と後継者育成等に御尽力いただけることを期待しております。

最近では、災害復旧を始め、東京オリンピック関連の社会資本整備による急激な変化に対応するため、労務及び資材単価の適宜改正、スライド条項の適正な活用を行うとともに、工程管理において、行程的な問題がある場合は、適宜調整を図ってまいります。なお、工事の発注につきましては、技術的な内容を考慮のうえ、専門工事ごとの分離発注とし、会員の皆様の技術力をより発揮していただける環境を整備しているところです。

工事の安全管理につきましては、千葉県県土整備部建設工事安全対策委員会において、工事現場の安全を確保するため、安全点検を実施しておりますが、営繕関係各課では、原則すべての施工中の現場において実施しております。作業従事者の安全を確保するためには、工事関係者が一丸となって安全対策を講じることが重要であり、関係法令を順守のうえ、安全管理の徹底に対して、なお一層の御協力をお願いいたします。

貴会会員の皆様におかれましては、電気設備業界のリーダーとして、県民生活の安全の確保と公共福祉の増進、さらには、地域振興に御尽力いただけることを期待しております。

結びに、新たな年が千葉県の将来にとって希望の年となりますことを祈念するとともに、一般社団法人千葉県電業協会のさらなる御発展と会員の皆様のますますの御活躍を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



年頭のごあいさつ



一般社団法人 日本電設工業協会会長

山口 学



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年は改正品確法が施行され、目的に「担い手の中長期的な育成・確保」が追加されるとともに、「発注者の責務」として、予定価格の適正な設定や適切な工期設定、設計図書における施工条件の明示等が明確化されました。電設業界が抱える諸課題の解決に大きく寄与するものと高く評価します。

当協会は、アクションプランの4つの重点目標の達成に向け、本部・支部及び都道府県協会が手を携え事業展開を図ります。

(1) 若年層の入職促進への仕組みづくりに取組むとともに、登録基幹技能者の処遇改善の具体化と有効活用・適正評価の推進や、社会保険加入促進による労働環境の改善を図ります。また、複数の大手会員企業の教育・研修施設を活用した「実技講習会」を全国9支部12施設で展開するなど、「優秀な人材の確保と技術・技能の継承」に向けた取組を進めます。

(2) 需要設備の使用前検査の規制緩和に伴い、受電時の完成度が不十分な工事が増加し、無理な工程による品質管理や安全面への影響が懸念されています。適正な受電時期の設定を確立し、受電時における完成度を高めるための方策として、工事段階からの電気主任技術者の関与を位置付けた「電設協版 保安規程」と、受電時の工事出来高の目標を明確にした「工事出来高チェックシート」を作成し、活用を始めます。

(3) 技術者・技能者不足による不調の増加や計画期間不足を理由とする設計施工一括方式の導入等により、分離発注の後退が懸念されています。品質とコストの関係が透明かつ明確で改正品確法の理念にも適った「分離発注」の一層の浸透を目指し、「分離発注促進キャンペーン」を展開します。

(4) 電力の安定供給は国民生活の重要な基盤です。スマートグリッドに関する動向、再生可能エネルギーの施工や系統連系等の技術的課題等の検討を通じて、電力の供給事情の変化や節電ニーズに的確に対応するとともに、低炭素社会の実現に向け、「省エネルギー対策の強化と再生可能エネルギーの活用」に積極的に取組みます。

電設業界は多くの課題を抱えていますが、関係機関・団体との連携を強化しつつ、行動する電設協として、「夢と生きがいのある電設業界」を目指します。

結びに、皆様方のご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶と致します。



1年を振り返って

詳しくはホームページをご覧ください。他の活動についても掲載されています。

<http://www.tidenkyo.jp/>

第52回通常総会

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等
平成26年 5月22日 オークラ千葉ホテル	第52回通常総会 ・第1号議案 平成25年度事業報告について ・第2号議案 平成25年度収支決算について ・第3号議案 平成26年度事業計画について ・第4号議案 平成26年度収支予算について ・第5号議案 役員の報酬及び費用に関する規程の変更について ・第6号議案 任期満了に伴う役員改選について	出席 55人 書面 36人 委任状 13人 計 104人

第52回通常総会懇親会

開催日時、場 所	出席者・対象等
平成26年 5月22日 オークラ千葉ホテル	来賓 28名 会員 47名 賛助 21名 計 96名



地区別会員交流会

地区別	開催日	会場	出席者
千葉・市原地区	8月22日	オークラ千葉ホテル	地区会員15社16名
	12月5日	妙の浦	地区会員11社12名
東葛・葛南地区	8月26日	市川グランドホテル	地区会員26社28名
北総・東総・山武・長生地区	8月22日	メルキュールホテル成田	地区会員 9社10名
夷隅・安房・君津地区	8月21日	東京ベイプラザホテル	地区会員19社19名



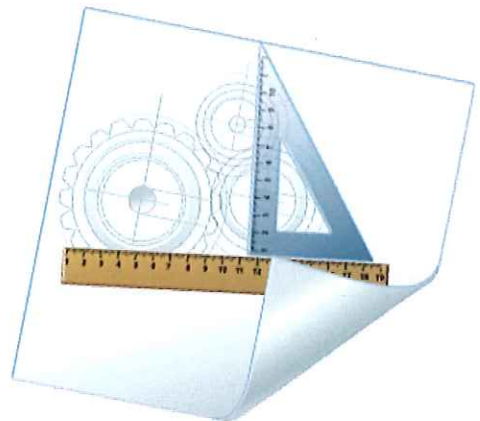
三県連絡会議

開催日時、場所	内容	出席者数
平成26年 11月13日 東京電業会館	(千葉県からの提出議題) ・官公庁の電気工事発注状況について ・公共施設の照明、道路照明におけるLED化の 動向について	千葉県 4名 神奈川県 5名 埼玉県 7名



千葉県高等学校工業教育研究会「総合技術コンクール」

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等	備 考
8月31日 前橋工業高校	・工業高校総合技術 コンクール 関東大会見学	委員 6名	
10月 9日 市川工業高校	・道徳講演会 講師	植草副会長	
11月29日 千葉工業高校	・工業高校総合技術 コンクール審査員派遣 ・電気工事を含む10部門 による競技 ・大会参加者 県内9校 170名	審査員 6名 他 1名	10/3 事前打合せ 10/22 事前打合せ



委員会報告 防災・渉外委員会

委員長

長谷川 由喜枝



当委員会のメンバーは全 12 名(副会長, 理事 5 名、委員 7 名)で活動を行っております。本年は防災における各員、各社の業務箇所の見直しもほぼ完了し、県との合同震災訓練もスムーズに遂行出来る様になりました。

東日本大震災の発生から 4 年・復興も進まない中、昨年は 2 月の大雪による災害から気候温暖化で長野県南木曾町の土石流災害で 1 名犠牲となったり、又 8 月には台風により広島市で 1 時間に 100 mm を超える猛烈な雨で住宅地区が大規模な土砂災害を受け 39 名死亡 7 名が行方不明や、突然に長野県の御嶽山噴火で多くの観光で登山された方々が犠牲となりました。幸い本県は大きな災害に見舞われなかったのですが、地域の安全保守は全員が常に危機意識を持って、一層の防災対策を推進し、災害発生の際には適切な行動が取れる様、訓練を重ねて行きたいと思っております。

渉外活動としましては、千葉県・県内各出先機関等へは協会員の優先指名について陳情活動も積極的に進めております。特に、地元への受注等、又今後は既設設備のリニューアルと設備の維持管理の業務も多く出て来ると思っておりますので、時代の流れに即応すべき体制の強化、優れた企業づくりのため会員各位の積極的な努力が望まれます。

(1) 災害防止事業

① 震災訓練等

開催日時、場所	内 容	出席者・対象等	備 考
平成26年 8月29日	千葉県県土整備部との 合同震災訓練	全会員 108社 本 部 16名参集	県内全域

② 県出先機関防災説明

実施日	内 容	出席者・対象者	訪問先
平成26年 5月9日～ 5月21日	災害応急対策組織及び災害 応急業務について	地区担当理事 防災・渉外委員 防災隊長 事務所隊長	県出先機関 21事務所
6月～7月	災害応急対策急業務に係る 施設見直しについて	地区担当理事 防災・渉外委員 防災隊長 事務所隊長	県出先機関 21事務所

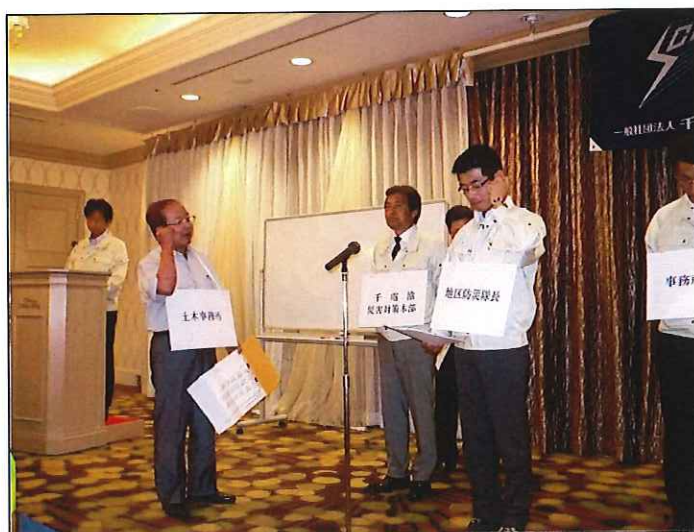
③その他災害応急対策に係る事業

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等	備 考
平成26年 7月29日 オークラ千葉ホテル	防災研修会 (安全研修会と同日開催) テーマ「災害応急対策活動 ～基本編～」	会員 79名	
9月～3月	災害応急対策に係る緊急 通行車両調査・申請手続き 及び災害優先電話案内	全会員対象	県担当課報告

(7) 公共工事発注機関への陳情・提言等事業

月 日	陳 情 先	陳 情 者	内 容
平成26年 4月15日	県土整備部他 関係各機関 17課 公 社 2社	会長、副会長 3名 理事 1名、事務局長	異動挨拶
7月16日	国土交通省 関東地方整備局	五十嵐会長 近藤技術・人材副委員長 常務理事	関東地方整備局との意 見交換会
9月 8日	夷隅、安房地区 各土木事務所	鎌田理事 曾我委員	要望
9月 9日	千葉県	会長、副会長 3名 理事 1名、常務理事	意見交換会
11月11日	千葉県	五十嵐会長 鎌形常務理事	意見交換会
12月10日	関東地方整備局	五十嵐会長	意見交換会

※意見、要望、提案事項等の内容につきましては、HPをご覧ください。



7/29 防災研修会にて、当委員会委員による寸劇

委員会報告 技術・人材委員会

委員長

細 矢 充



技術・人材委員会では、会員の皆様の技術の研鑽、経営品質の向上、安全確保を目指し、委員会活動を進めてきました。

関係各位のご協力を賜り、経営に役立つ研修会をはじめ技術向上・資格取得・営業活動支援の研修会や施設見学会を実施する事が出来ました。また、会員企業から数多くの参加を頂き、深く感謝申し上げます。

しかし、会員の皆様に有益となる再生可能エネルギーなどエネルギー関連技術や新技術・新商品の調査研究の着手が遅れ、会員各社に太陽光発電システムの施工実績調査程度に止まり深く反省しています。

至近の課題・問題点として、御多分に洩れず、電設業界においても技術者不足・労働者不足が深刻化しております。技術力の研鑽を図り、新技術・新商品等の研究調査を重ね、業務の効率化を図ることとともに造注活動に結びつけることが当委員会の役割であると認識しております。

引き続き、関係各位や会員の皆様からご支援ご鞭撻を頂き、よりお役に立てる『技術・人材委員会』にしたいと考えております。本年も何卒宜しく お願いします。

(3)講習会事業

開催日時、場所	内 容	出席者・対象等	結果等
平成26年 4月 4日 11日 18日	1級電気工事施工管理技術 検定試験受験準備講習会	受講生 会 員 20名 非会員 8名 講 師 6名 (ホリテクカレッジ等)	筆記試験合格率 全国 35.6 % 協会 32.0 %
9月12日 19日 26日	2級電気工事施工管理技術 検定試験受験準備講習会	受講生 会 員 7名 非会員 5名 講 師 6名 (ホリテクカレッジ等)	試験合格率 ※2月発表のため、 未確認

(4)事故防止事業

①安全研修

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等
平成26年 7月29日 オークラ千葉ホテル	テーマ「建設業務の安全対策」 講 師 (一財)関東電気保安協会 千葉事業本部 広報 井上 喜久雄 氏	会 員 79名

(5)資機材調査研究事業

①資機材調査研究

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等
平成26年 11月14日 オークラ千葉ホテル	賛助会員広報(技術研修会と同日開催)	会 員 32名 賛 助 7社
11月14日 PENTHOUSE	賛助会員との情報交換会	委 員 4名 賛 助 12名(7名)

(8)人材の確保及び育成事業

開催日時、場 所	内 容	出席者数
平成26年 7月16日 オークラ千葉ホテル	国土交通省 関東地方整備局 東京第2営繕事務所 「入札契約方針等に係る説明及び H26 営繕工事発注見通し等について」 (千葉県空調衛生工事業協会共催)	会 員 11名
9月18日 オークラ千葉ホテル	経営講習会 テーマ「地域建設企業向け BCP(事業継続計 画)の作成方法」 講 師 (株)建設経営サービス 主席コンサルタント 橋本 秀和 氏	会 員 32名
11月14日 オークラ千葉ホテル	技術研修会(賛助会員広報と同日開催) テーマ「現場営業実践法Ⅱ」 講 師 (株)建設経営サービス 提携講師 平林 修二氏	会 員 32名



委員会報告 総務・企画委員会

委員長

中村和彦



新年明けましておめでとうございます。

総務・企画委員会より平成26年度の委員会報告をさせていただきます。

当委員会では通常総会の運営・就労支援活動・会報の発行をメインに活動を行っております。将来的に深刻な人手不足が懸念されている事から、就労支援活動ではご好評いただいております工業高校との情報交換会、出前授業、技術コンクールへの審査員の派遣などを行いました。ですが、成果はまだまだ報告出来るような内容に至りません。

11月末に開催された工業高校・技術コンクールに審査員として出席しましたが、工業高校の生徒はかなりの技術と知識があると感心いたしました。近い将来、会員皆様の会社で工業高校卒業生が沢山活躍している姿を思い描いています。

最後になりますが、関係各位や会員の皆様におかれましては、引き続き当委員会の活動に御理解、御協力お願い申し上げますと共に今年一年が素晴らしい年であることを祈願しまして、委員会報告とさせていただきます。

就労支援事業

開催日時、場所	内 容	備 考
1月30日 千葉工業高校	出前授業	
2月21日 市川工業高校	企業説明：(株)電洋社、(株)フィデス	

広報関係

開催日時、場所	内 容	備 考
	<ul style="list-style-type: none"> ・HPの更新 ・各行事 予定、案内、報告 ・人材情報 ・他団体からの各案内 ・1、2級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会の一般募集 ・通達等 国関係、関東地方整備局、県関係、その他 ・入札公告 北関東防衛局 ・建設新聞各紙への取材依頼 	